Chapter—1

インペリテリ奏法のエッセンスが凝縮されたエクササイズ・フレーズ集

Chapter 1ではインペリテリ奏法ならではの
スピード感溢れるプレイの醍醐味を
リアルに体感してもらうべく、
リフ、コード・ワーク、ソロといった各プレイ・タイプにおける
特徴的なフレージングやアプローチに基づいて
エクササイズ譜例を構成してみた。
付録CDのデモ音源を参考にしながら練習を重ねてみよう。

pic : Hiroyuki Yoshihama

Chapter 1（Ex-1～Ex-10）の譜例解説は
付録CDのTrack No.1～17に連動しています。
それぞれのトラック内容は以下の通りです。
各自のニーズとレヴェルに合わせて
譜面とリンクさせながら活用してください。
※CD音源で聴けるEx-1～Ex-10は総て半音下げチューニングでプレイしています。

各エクササイズ・フレーズのサンプル・トラック

リフ・エクササイズEx-1の例題音源
（ノーマル・テンポ）

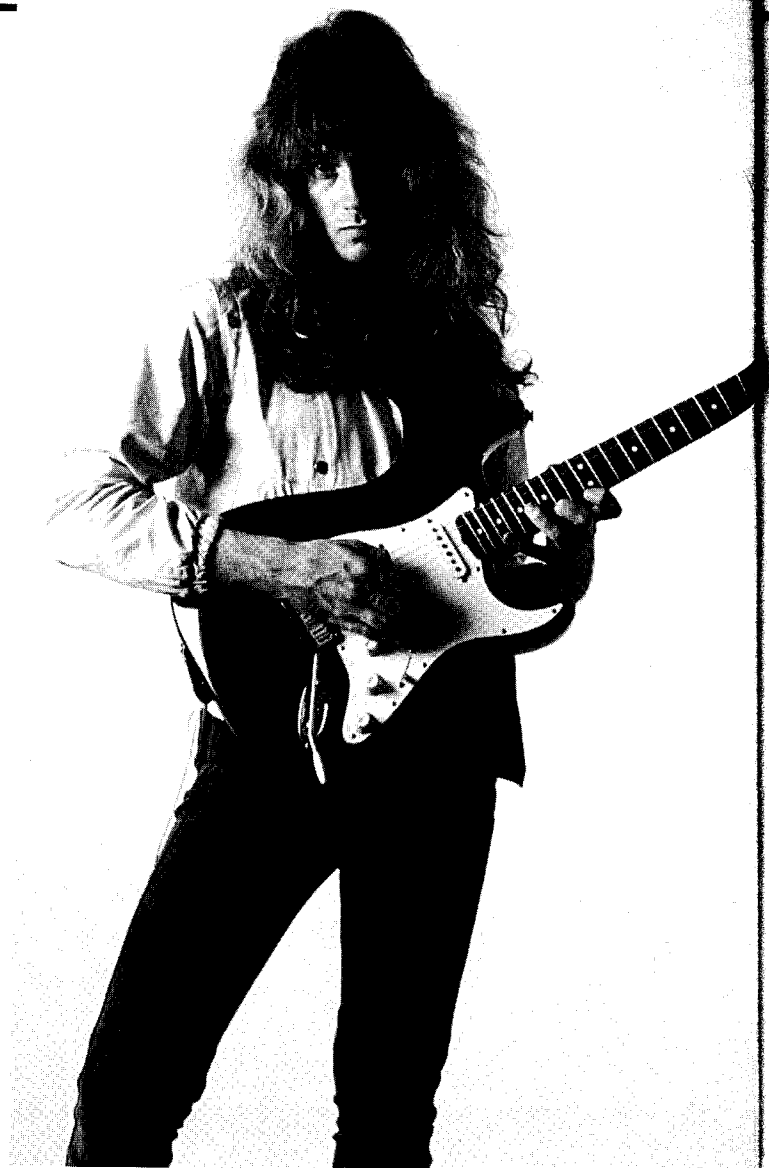
リフ・エクササイズEx-2の例題音源
（ノーマル・テンポ）

ソロ・エクササイズEx-3の例題音源
（ノーマル・テンポ）

ソロ・エクササイズEx-3の例題音源
（スロー・テンポ）

ソロ・エクササイズEx-4の例題音源
（ノーマル・テンポ）

ソロ・エクササイズEx-4の例題音源
（スロー・テンポ）

ソロ・エクササイズEx-5の例題音源
（ノーマル・テンポ）

ソロ・エクササイズEx-5の例題音源
（スロー・テンポ）

ソロ・エクササイズEx-6の例題音源
（ノーマル・テンポ）

ソロ・エクササイズEx-6の例題音源
（スロー・テンポ）

ソロ・エクササイズEx-7の例題音源
（ノーマル・テンポ）

ソロ・エクササイズEx-7の例題音源
（スロー・テンポ）

ソロ・エクササイズEx-8の例題音源
（ノーマル・テンポ）

ソロ・エクササイズEx-8の例題音源
（スロー・テンポ）

ソロ・エクササイズEx-9の例題音源
（ノーマル・テンポ）

ソロ・エクササイズEx-9の例題音源
（スロー・テンポ）

ソロ・エクササイズEx-10の例題音源
（ノーマル・テンポ）

RIFF exercise I

CD Track No. 1　CD Track No. 2

一聴するとオーソドックスなハード・ロック調リフのようだが、実際にはフィンガリング、ピッキング共にハイテクな面が窺えるEx-1とEx-2。

Ex-1は1、2小節の人差指及び中指でのジョイントが肝。バレー風に3～6弦までを押さえると和音が濁るので、あくまでジョイントで1音毎に音を止めること。

Ex-2の指使いはかなりトリッキー。6～3弦の3fを2和音毎に分離させるための手段なのだが、Ex-1のように人差指のジョイントを使ったり、6弦を親指で押さえる手もある。

Ex-1 ルート音を絡ませたリフ・エクササイズ

CD Track No.1　ノーマル・テンポ

Ex-2 ミュート音が肝となるリフ・エクササイズ

CD Track No.2　ノーマル・テンポ

pic : William Hames

Ex-3の1小節目はスウィープ風に聴こえるかもしれないが、オルタネイトによるフル・ピッキングで弾き通すのがインペリテリ流だ。1小節1拍目のアルペジオは、ストレッチ状態で3弦9fを薬指で押さえるのが要点。中指で押さえてしまうと、続く1弦へのフィンガリングで指が足りなくなる。その1弦7f→12fはポジションを動かさずにストレッチで押さえるが、2拍目の頭（1弦12f小指→15f小指）で瞬時にポジション移動。同じく2拍目のスキッピングも

Ex-3 オルタネイトのフル・ピッキングでこなすソロ・エクササイズ

フル・ピッキングでこなす。４拍目からの下降フレーズは、ポジション移動しなければ比較的容易に弾けるのだが、クリアーなサウンドによる再現にはこうしたリニアな動きが必須となる。５小節目では開放弦からのノイズに要注意！

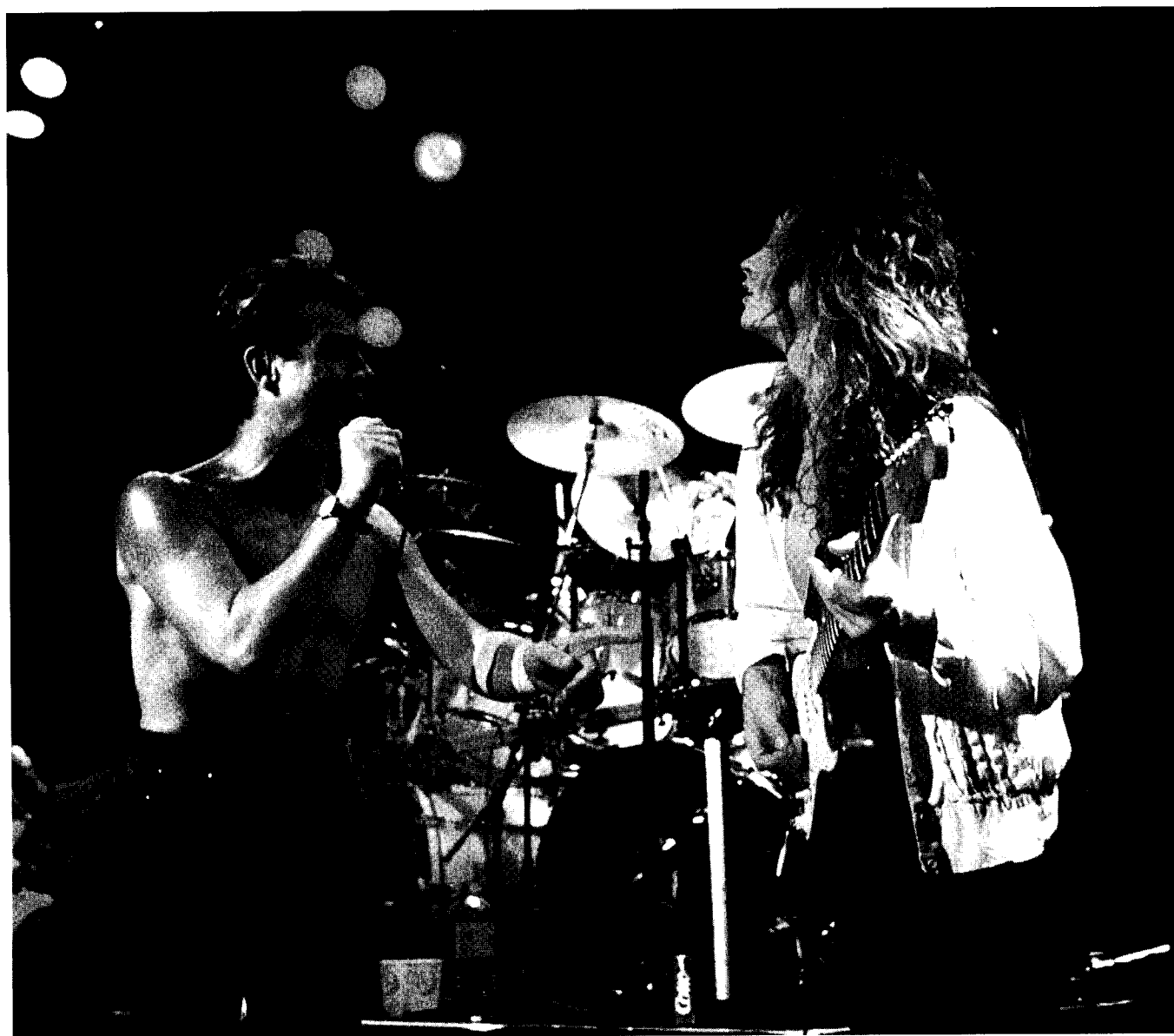
CD Track No.3 ノーマル・テンポ　CD Track No.4 スロー・テンポ

Ex-4のように単純なスケール下降に甘んじないのがインペリテリ・ワールド。1小節3～4拍目は、3弦上でスムーズにポジション・チェンジを行なうために9fのE音を2回弾いている。

5小節目からはコード分散フレーズだが、単にタブ譜を目で追うだけではなく、予め指板上のコード・トーン分布をコード・フォームに関連付けて覚え、4f、9f、12fポジションの3つのボックス・シェイプを連結させたフレーズであることを把握することが大切だ。

9～10小節の下降フレーズも同じコード

Ex-4 ストリング・スキッピングを含んだソロ・エクササイズ

C#mの分散下降によるものだが、これも12f、9f（ここだけ上昇時と同シェイプ）、7fの3つのボックス・シェイプを連結したもの。また、9小節4拍目の1弦9fはピックを持ったまま余った中指でチキン・ピッキングで弾く。

pic : Hiroyuki Yoshihama

Ex-5はスキッピングによるアルペジオ・フレーズ。1～3小節間では、手が小さめの人は3弦の高音側を小指で、低音側を中指で押さえる方が楽だが、高速かつスムーズにプレイするにはストレッチを鍛えて記譜通りの指使いで押さえたい。ここでは各拍毎にプリングを入れるパターンだが、インペリテリの場合は完全なフル・ピッキングでもプレイするので、まずはオルタネイトのフル・ピッキングから練習してみよう。高速化練習時にスピードの壁に当たったら、譜例と同じようにプリングを使うことによってさらに1段階速度アップできるはずだ。プリングを使う場合は、オルタネイトよりも3弦から1弦へ［⊓（ダウン）→⊓］でピッキングしていくエコノミー・ピッキングにした方が楽だろう。

Ex-5 ストリング・スキッピングによるアルペジオ・ソロ・エクササイズ CD Track No.7 ノーマル・テンポ CD Track No.8 スロー・テンポ

4＆2弦をスキップすることで、2オクターヴ近い音域を超高速アルペジオで弾き切るEx-6。まずは5＆3弦での7f分のワイド・ストレッチ・フォームをマスターするのが先決。コツはネック裏に添える左手の親指を2弦の裏付近に当てることで、あとはひたすら指を開くトレーニングを続けるしかないかも。このフォームでハンマリング／プリングを行なうが、ハンマリング時は人差指を最後まで離さず、プリング時にも最初から3本の指で完全に押弦しておくことが大切だ。

また上昇時には、弾き終えた弦からノイズが出ないように右手で順次ミュートする習慣を付けよう。最初は各弦毎にしっかりとピッキングするが、最終的にはノン・ピッキング＝左手TAPだけで弾けるようにしたい。

Ex-6 H&P、タッピング、スキッピングを用いたソロ・エクササイズ CD Track No.9 ノーマル・テンポ CD Track No.10 スロー・テンポ

pic : William Hames

SOLO exercise V

CD Track No. 11　CD Track No. 12

Ex-7はコード・トーン同士をダイアトニックに連結し、コード進行をメロディーで表現するクラシカルなフレーズ。1〜3小節や8小節目などは、小刻みなリニア移動を伴うインペリテリ特有のスタイルだ。1小節3拍目から4拍目への部分はちょっとした鬼門。小指でのジョイントのために押弦が甘くなったり、逆に力むとピッチがシャープしてしまったりしがちだ。5小節1拍目の1弦10fは中指によるチキン・ピッキングなのだが、ピック弾きの音と音色が極端に違わないよう、あくまで軽めのタッチで弾くこと。

Ex-7 ポジション移動の激しいスキッピング多用ソロ・エクササイズ

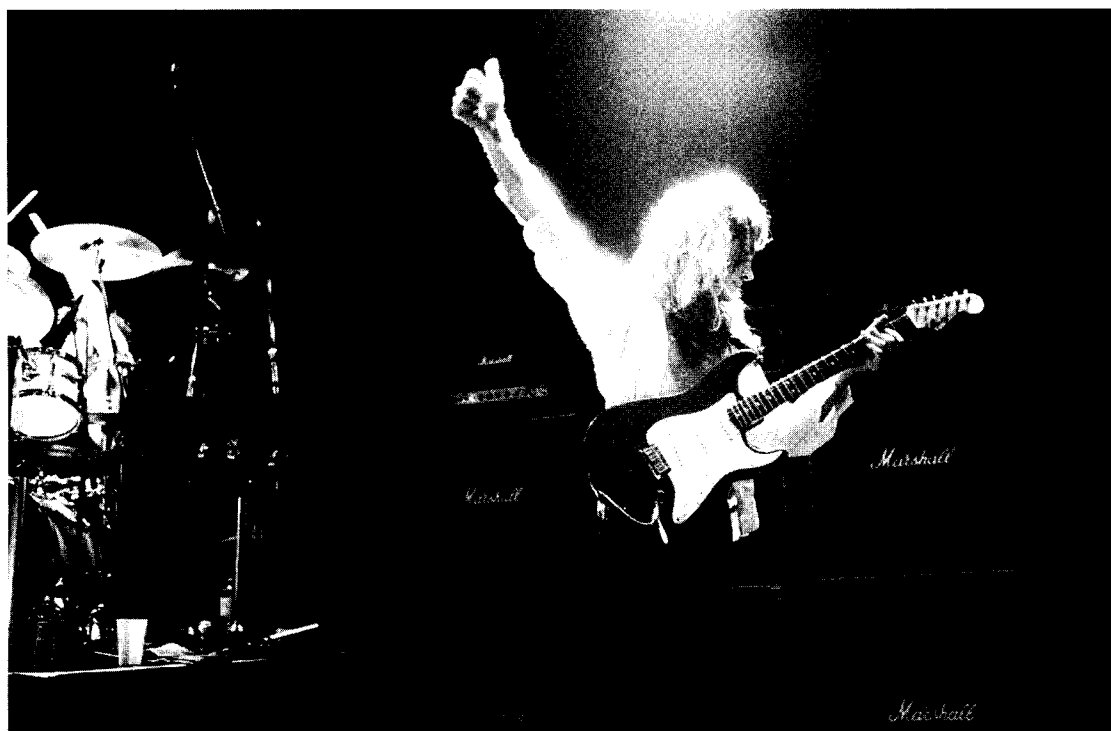
13小節目からはスキッピングでのストレッチのきつさに加え、スキッピングでのエコノミー・ピッキングと難関続き。スウィープ気味のピッキングではスキップ弦がノイズ源になりやすいので注意！

CD Track No.11 ノーマル・テンポ CD Track No.12 スロー・テンポ

SOLO exercise VI

CD Track No. 13 CD Track No. 14

開放弦とストレッチとタッピングの組み合わせによるEx-8。最大のポイントは2弦上でのストレッチだ。人差指で6f、中指で7fを押さえた状態で10fを小指で押さえるだけでもかなりハード。この状態のハンマリング＆プリングで十分な音量を得るには、ストレッチに余裕が持てるようになるしかない。コツを挙げるとすれば、人差指は6fのバー近辺を押さえるよりも、5fと6fの中間辺りを押さえた方が小指に掛かる負担が減るということくらいか。フレーズ全体では、8分3連を挿むことによる緩急がポイントとなるが、その緩急を表現するには、まず16分音符フレーズをスムーズにこなすことが肝なので、結局は2弦上ストレッチの練習が最重要ということになる…ここはひたすら小指を開く！

Ex-8 タッピングを用いた左手駆使のレガート・ソロ・エクササイズ CD Track No.13 ノーマル・テンポ CD Track No.14 スロー・テンポ

pic : Hiroyuki Yoshihama

Ex-9はBハーモニック・マイナーP5thビロウ・スケール（＝Eハーモニック・マイナーをB音から並べ直したスケール）のエキゾチック感を活かしたレガート・フレーズ。単にスケールをアップ&ダウンするだけでなく、段階的に上昇、スウィープから最高音に向かって急加速、さらに2オクターヴを一気に下降と、たった4小節の高速フレーズにもドラマを作るのがインペリテリ流の肝。レガートらしさを活かすため切れ目のないフレーズになっているが、3つ程度のブロックに区切って練習するのが妥当。2小節目のスウィープの前までは1本弦上に3音ずつの運指がベース。スウィープから3小節2拍目までは固定ポジションなので譜割に注意したい。後半も3ノート・シェイプなので高速化は意外に容易かも。

Ex-9 左手の強化に繋がる流麗なレガート・ソロ・エクササイズ CD Track No.15 ノーマル・テンポ CD Track No.16 スロー・テンポ

SOLO exercise VIII

CD Track No. 17

　ストラトキャスターならではのハーフトーンによるクリーン・サウンドを活かしたファンキーなEx-10の前半部。とはいえ、続けてソロをプレイするので、アンプのセッティング変更は禁物。ここではリード用のオーヴァードライヴはオフにし、ギターのヴォリュームを2前後まで絞ってクリーン・サウンドを作るようにする。1小節1、2拍目の3弦は中指でチキン・ピッキングするが、できれば深めのコンプレッサー（ギター・ヴォリュームを絞っているので掛かりは決して深くならないが）を掛けて「バチン」というパンチ力のあるアタック音を出そう。

　7小節目以降のフレーズでは、小指を伸ばす瞬間がきつめ。［3弦人差指・4弦薬指・5弦小指］の4弦を中指で押さえ替えた方が楽という人もいるかも。

Ex-10 カントリー風フィンガー・ピッキングによるソロ・エクササイズ　CD Track No.17 ノーマル・テンポ

pic : Hiroyuki Yoshihama

Chapter—2

pic : Hiroyuki Yoshihama

構築度の高い リフ展開を擁した インペリテリ流手法による 例題エクササイズ

Chapter 2では、クリス流の様式美スタイルとクラシカル・センスを総括した例題曲を挙げて、フレージング・アプローチのサンプルを提示してみた。各パートの攻略を通して、彼独自の奏法エッセンスを着実にマスターしていただきたい。

Chapter 2（Ex-1～Ex-6）の譜例解説は付録CDのTrack No.18～33に連動しています。それぞれのトラック内容は以下の通りです。各自のニーズとレヴェルに合わせて譜面とリンクさせながら活用してください。

※CD音源で聴けるEx-1～Ex-6は総て半音下げチューニングでプレイしています。

各エクササイズ・フレーズのサンプル・トラック

リフ・エクササイズEx-1の例題音源
（ノーマル・テンポ）

バッキング・エクササイズEx-2の例題音源
（ノーマル・テンポ）

バッキング・エクササイズEx-3の例題音源
（ノーマル・テンポ）

バッキング・エクササイズEx-4の例題音源
（ノーマル・テンポ）

ソロ・エクササイズEx-5の例題音源
（ノーマル・テンポ）

ソロ・エクササイズEx-5の例題音源
（スロー・テンポ）

ソロ・エクササイズEx-5の例題音源
（下段パート［メイン］のみのノーマル・テンポ）

ソロ・エクササイズEx-5の例題音源
（下段パート［メイン］のみのスロー・テンポ）

ソロ・エクササイズEx-5の例題音源
（上段パート［ハモリ］のみのノーマル・テンポ）

ソロ・エクササイズEx-5の例題音源
（上段パート［ハモリ］のみのスロー・テンポ）

ソロ・エクササイズEx-6の例題音源
（ノーマル・テンポ）

ソロ・エクササイズEx-6の例題音源
（スロー・テンポ）

練習用カラオケ・トラック

Ex-5→Ex-6（ソロ・パート）の ギター・マイナス・カラオケ（スロー・テンポ）

Ex-5→Ex-6（ソロ・パート）の ギター・マイナス・カラオケ（ノーマル・テンポ）

Ex-1～Ex-6（オール・パート）の ギター・マイナス・カラオケ（スロー・テンポ）

Ex-1～Ex-6（オール・パート）の ギター・マイナス・カラオケ（ノーマル・テンポ）

不協和音にも聴こえるコードを駆使した、ハイ・テンションだが構成度の高い緻密な進行だ。最も複雑なイントロは、記譜通りのコード進行でも解釈できるが、全体の響きとしてはE7系であり、例えばコードBの部分は$E7^{(9)}$、B♭の部分は$E7^{(\flat 9)-5}$の響きになっている。同様にCm7/Gは、$C7^{(\#9)}$のフィーリングによるものとなる。このハイ・テンションな響きとAのEm一発的なシンプルな響きとの落差が、この例題曲が醸し出すダイナミクスの源となっているわけだ。

尚、B 1小節目のF♯mはコード・フォームに従った表記であり、トーナリティー的にはD/F♯である。

Intro1

| N.C. | | | | |: Em B Em | B♭ N.C. |

| Em Cm7/G Em | Cm7/G Em/B | Em B Em | B♭ N.C. | Em Cm7/G Em |1. :|2. Cm7/G Em/B ||

Intro2

| Em G/E D/E Em | D D♯ Em | G/E D/E Em | B♭ A G |

| Em G/E D/E Em | D D♯ Em | G/E D/E Em | B♭ A G ||

𝄋① **A**

| Em | | | | Em | | | B G |

| Em | | | | Em | | | B G ||

B

| F♯m Em | | C | A | F♯m | Em | to 𝄌① C | D |

C

| Em B Em | B♭ N.C. | Em Cm7/G Em | Cm7/G Em/B |

| Em B Em | B♭ N.C. | Em Cm7/G Em | ||

D.S. ①

𝄌 **Coda** ① **D** 𝄋②

| C | D B | Em | C | G | D Dsus4 D | Em | C | G | D B |

| Em | C | G | D Dsus4 D | Em | C | D | ||

E

| Em B Em | B♭ N.C. | Em Cm7/G Em | Cm7/G Em/B |

| Em B Em | B♭ N.C. | Em Cm7/G Em | |

| Em B Em | B♭ N.C. | Em Cm7/G Em | Cm7/G Em7/B |

| Em B Em | B♭ N.C. | to 𝄌② Em Cm7/G Em | Em B B♭ G ||

F

| F♯ | | | | Em | | | |

| F♯ | | | ||

G

| D | | A | | Bm | | G | ||

D.S. ②

𝄌 **Coda** ②

| Em Cm7/G Em | Cm7/G Em ||

RIFF exercise I

CD Track No. 18 / CD Track No. 32 / CD Track No. 33

Ex-1のリフに漂うテンション感を表現するには、各音をクリアーに鳴らすことはもとより、ノイズにも十分注意。例えば2小節2拍目の5弦開放A音は、前のB♭からA、続く6弦3f・G音へのアプローチ・ノートとなっている。クリアーにピッキングしつつ、隣接弦のノイズ防止にも注意を払おう。Cm7/Gは人差指の腹で4弦を確実にミュートしつつ、2～5弦を均一にピッキング。10小節目以降は8分休符をしっかりと意識してプレイ！

Ex-1 右手によるミュートが要のリフ・エクササイズ

CD Track No.18	ノーマル・テンポ
CD Track No.32	スロー・テンポのギター・マイナス・カラオケ
CD Track No.33	ノーマル・テンポのギター・マイナス・カラオケ

pic : William Homes

BACKING exercise I

CD Track No. 19　CD Track No. 32　CD Track No. 33

Ex-2はシンプルな８ビートだが、総てダウン・ピッキングでトレブリーかつ押しの強い均一なサウンドをキープするのは意外に難しい。４小節目のリフは、ピッキング・ハーモニクス気味の鋭角なピッキングでプレイして欲しい。

６小節目は８分休符を確実に取る（休む）ことが要点で、さらにクォーター・チョーキングのニュアンスも重要。続く開放弦へのプリングは、ジョイント状態から確実に弦を引っ掻いて十分な音量を確保したい。

Ex-2 スピード感を重視した単音ミュート主体のバッキング・エクサイズ

CD Track No.19	ノーマル・テンポ
CD Track No.32	スロー・テンポのギター・マイナス・カラオケ
CD Track No.33	ノーマル・テンポのギター・マイナス・カラオケ

Ex-3はシロタマ（全音符）中心なので難易度はビギナー・クラスだろう。3小節目はロー・コードをベースにしたフォームだが、5弦2fを避けてルート＆5度の和音にしているのがミソ。3fのパワー・コード・フォームでも同じ和音が得られるが、伸びと豊かな倍音を持つ開放弦を活かしたサウンドは格別だ。

8小節目は、5弦のD→D♯→Eという半音進行がミソ。最後のスクラッチには深く揺れの遅いフランジャーを掛けよう。

Ex-3 旋律を活かしたパワー・コードによるバッキング・エクササイズ	
CD Track No.20	ノーマル・テンポ
CD Track No.32	スロー・テンポのギター・マイナス・カラオケ
CD Track No.33	ノーマル・テンポのギター・マイナス・カラオケ

(D.S. time Only Gt. II,III)

Em | C | G | D Dsus4 D M

小 人 人 人 小 人 開 開 中 薬 薬 人 小 薬 薬 薬 薬 薬 薬 薬 薬

Em | C | G | D B

(D.S. time Only Gt. II,III)

小 人 小 人 開 開 中 小 人 人 人 小 人 薬 薬

(D.S. time Only Gt. II,III)

Em | C | G | D Dsus4 D M

小 人 人 人 小 人 開 開 中 薬 薬 人 小 薬 薬 薬 薬 薬 薬 薬 薬

(D.S. time Only Gt. II,III)

Em | C | D | Pick Scratch 3 g

小 人 人 人 小 人 小 人

Ex-4はパワー・コード主体によるクリス流のバッキング例。1拍毎に8分休符を挿んでスタッカート気味にプレイするが、この手のフレーズでは8分音符の長さと8分休符の長さでリズムとグルーヴ感をコントロールすることが大切だ。8分音符が短すぎると4分音符の頭でしかリズムを表現できないが、ジャストのタイミングで音を止め、音符と休符を正確に半々にすれば、4分の刻みで8分のリズムが表現できるというわけだ。

Ex-4 パワー・コードを歯切れ良く刻むバッキング・エクササイズ

CD Track No.21	ノーマル・テンポ
CD Track No.32	スロー・テンポのギター・マイナス・カラオケ
CD Track No.33	ノーマル・テンポのギター・マイナス・カラオケ

pic : Hiroyuki Yoshihama

F#ハーモニック・マイナーP5thビロウ・スケール（Bハーモニック・マイナー・スケールをF#音から並べ直したスケール）によるエキゾチックなソロがEx-5。スケール内の♭2ndとM3rd間（ハーモニック・マイナーでは♭6thとM7thの間に相当）の1音半の音程が、1弦15fと18f、3弦15fと12fなどにあるため、フィンガリング・ミスをしやすい。各ポジションで3ノート・パターンを十分に練習してから取り組もう。

4小節目は3ノート・パターンで6連な

Ex-5 ツイン・ギターによる典型的3度ハモリのソロ・エクササイズ

のでスピード重視で攻略を目指そう。逆に3小節目は5連と16分が交錯するので、運指練習を始める前にメロディーとしてリズムの変化を覚えてしまおう。正確なリズムなくして美しいツイン・リードは達成できないのだ。

CD Track No.22	ノーマル・テンポ	CD Track No.23	スロー・テンポ
CD Track No.24	下段パート[メイン]のみのノーマル・テンポ	CD Track No.25	下段パート[メイン]のみのスローテンポ
CD Track No.26	上段パート[ハモリ]のみのノーマル・テンポ	CD Track No.27	上段パート[ハモリ]のみのスロー・テンポ
CD Track No.30	スロー・テンポのギター・マイナス・カラオケ	CD Track No.31	ノーマル・テンポのギター・マイナス・カラオケ

Ex-6の1小節目はストレッチ・フォームでのレガートなので、本来1弦14fは小指で押さえたいところだが、半音チョーキングの音程を緻密にコントロールするには薬指を使わざるを得ない。ストレッチ気味のフォームを準備しながらチョーキングしつつ、チョーク・ダウンと同時に完全なストレッチ・フォームに移行する。アームのニュアンスにも注意しよう。

2小節目移行もF#ハーモニック・マイナーP5thビロウ・スケールのみで構成されているが、フレーズ、リズム共にかなり

Ex-6 フル・ピッキングを交えながら緩急を付けて弾くソロ・エクササイズ

ランダム化されている。1小節毎に区切って覚えていくしかないだろう。4小節2拍目最後から3拍目の部分で音が途切れるのを防ぐには、人差指をヘッド方向へ目一杯ストレッチしてからポジション・チェンジする練習が必要だ。

CD Track No.28	ノーマル・テンポ	CD Track No.29	スロー・テンポ
CD Track No.30	スロー・テンポのギター・マイナス・カラオケ		
CD Track No.31	ノーマル・テンポのギター・マイナス・カラオケ		

pic : William Hames